



学校だより

山辺里小学校

学校HP <http://saber-e.murakami.ed.jp>

令和3年11月15日 第7号

言葉

校長 小川 誠

「キモい」「ウザい」「ヤバい」などの言葉は、死語になったかと思っていましたが、どうやら違うようです。何気なく、インターネットを開いていたら、それらの言葉が今も使われているのを見付けました。

言うまでもなく、言葉は大切です。言葉の使い方によって、印象がまるで違うことを何度も経験しましたし、余計なことを言ってしまって何度も失敗をしました。

「どうしてこうなったのか…」、そのとき、「どう伝えればよかったのか…」。そんな気まずい思いは、数え切れないほど経験しました。

「言うか、言わないか」によって違う事態になったと思うこともありましたし、同じことを言うのでも、言い方や言葉の使い方、使う順番などで、事態は変わりました。

当たり前のことですが、人は言葉でものを考え、言葉で理解し、言葉で喜怒哀楽を表し、言葉で伝えながら社会生活を営んでいます。

「言葉は心であり、行動である」のです。言葉の乱れは心の乱れ・行動の乱れであり、心の乱れは人間関係の乱れにつながっていきます。子どもの世界であれ、大人の世界であれ、言葉の乱れが「いじめ」を招いていきます。物や人を攻撃する言葉や冷たい言葉は、人を傷付けるだけで何も生み出さないこと、自分の身の周りの人間関係を壊すこと。「言葉は心であり、行動である」ことをしっかりと自覚して、安定した心で生活してほしいと願っています。

ひと	ひと	やさ	きれ	ひと	ひと	ひと	ひと	ひと	ひと	「ひと	
とつ	とつ	しい	いな	とつ	とつ	とつ	とつ	とつ	とつ		とつ
のこ	のこ	いこ	なこと	のこ	のこ	のこ	のこ	のこ	のこ		のこと
とば	とば	こと	ばは	ころ	ばは	こと	こと	こと	こと	ばは	
を	を	ばは	は	を	は	ばで	ばで	ばで	ばで	ばで	
美しく	大切に	やさしい心	きれいな心	もっている	それぞれに	泣かされる	楽しく笑い	心が痛む	頭が下がり	なかなかおり	けんかして
											北原 白秋



山辺里小学校では、11月22日(月)から12月3日(金)までを「人権教育強調週間」として全校で取り組みます。子どもたちが、人の心の痛みが分かり、人を思いやることができるように。また、差別や偏見を許さず、公平・公正に判断し行動できるように取り組んでいきたいと思ひます。